

種目（理科）

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p style="text-align: center;">東京書籍（新編 新しい理科）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験に関する基本的な技能を身に付けられるよう構成されている。</li> <li>・ 問題解決の過程における学び方が「学びのライン」で示され、学習を進めながら問題を科学的に解決できるよう構成されている。</li> <li>・ 自然の事物・現象に触れて問題を見いだす場面を設け、児童の気付きや疑問を基に問題解決に取り組めるよう配慮されている。</li> </ul>
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 巻頭や巻末に各学年目標に沿った理科の学び方が示され、学習内容、程度が児童の発達段階に応じるよう配慮されている。</li> <li>(2) 予想や考察などの思考する場面では、働かせる「理科の見方・考え方」を明示し、問題を科学的に解決するための工夫がされている。</li> <li>(3) 身近な事象の観察や具体的な活動が示された「レッツトライ」が単元の導入に設定されており、児童の興味・関心や問題意識が高められるよう配慮されている。</li> <li>(4) 観察、実験の方法が写真や図で順序立てて示され、安全への配慮が必要な場面では、赤い文字で強調された「きけん」マークによって注意喚起されている。</li> <li>(5) A4判で写真が鮮明で図が大きく、配色、コントラストが鮮明に構成され、児童の学習意欲を高めるよう配慮されている。</li> </ol>
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 児童の気付きや疑問を基に追究する単元構成であり、各単元が季節に適した時期に実施されるよう工夫されている。</li> <li>(2) 「思い出そう」で既習の内容を想起させ、系統的に学習が進むようにし、「予想しよう」や「考察しよう」でキャラクターの対話を示し、他者と関わりながら学習が進むよう図られている。</li> <li>(3) 導入の活動で直接体験を促したり、観察、実験で適切な結果が得られる方法や手順を示したりして、実感を伴った理解がなされるよう展開が工夫されている。</li> <li>(4) 巻末資料に、観察、実験の技能や学んだことを活用した発展的な学習内容についてまとめて掲載し、必要なときに確認できるよう工夫されている。</li> <li>(5) 拡大した写真を並べたり、数多くの写真を時系列に配置したりして示し、比較して問題を見付けたり、事実を基に考察したりすることができるよう工夫されている。</li> <li>(6) 単元末の「たしかめよう」や、巻末の「ふりかえろう」で、学習内容の定着が図れるよう工夫されている。</li> </ol>
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大きく鮮明で、資料性の高い写真、図版の掲載により、興味・関心をもって学習に取り組めるように配慮されている。</li> <li>・ 「レッツトライ」「問題をつかもう」から「まとめ」まで、問題解決の過程を大きな文字で示し、1本のラインで結ぶことで、児童が見通しをもって学べるよう配慮されている。</li> </ul>

種目（理科）

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p style="text-align: center;">大日本図書（新版 たのしい理科）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 既習の内容を確認しながら学習活動を進められるよう、下学年で学んだことや学習内容の関連を示すように構成されている。</li> <li>・ 問題解決の過程を「見つけよう」「調べよう」「伝えよう」に分けて3色で構成し、問題解決の力が身に付くように配慮されている。</li> <li>・ 身近な自然事象を扱ったり、体験的な活動を扱ったりし、自然を愛する心情を養うよう配慮されている。</li> </ul>
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 巻頭ページに、発達段階に応じた「理科の学び方」が示され、児童が見通しをもち対話的に活動できるよう配慮されている。</li> <li>(2) 単元の導入では、身近な生活経験を想起させる写真を取り上げ、問題を見付け、理科の見方・考え方を働かせて科学的に解決できるよう工夫されている。</li> <li>(3) 問題解決の過程で、他者の意見を通して自分の考えをより妥当なものにしていく場面が設けられ、「対話的な学び」が実現できるよう配慮されている。</li> <li>(4) 観察、実験の方法が図や写真と共に順序立てて示されており、野外活動や薬品の取り扱いについては、「注意」マークや「ポイント」マークで強調し、安全への配慮がされている。</li> <li>(5) A4判の大判を生かしたダイナミックな写真配置や構図となっており、児童の関心や意欲を高める工夫がされている。</li> </ol>
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 各学年で特に育成したい問題解決の力を身に付ける活動場面が掲載され、児童が思考し判断し表現できるよう配慮されている。</li> <li>(2) 問題発見や考察の場面では、「ココに注目」の吹き出しで理科の見方・考え方が示され、児童自身で問題を見いだしたり、結果から考察を導きだしたりできるよう配慮されている。</li> <li>(3) 学んだことが日常生活でどのように活用されているかを示す資料が掲載され、理科の有用性を実感できるよう工夫されている。</li> <li>(4) SDGsの視点から、地球規模の様々な問題に対して意識できるよう資料や構成が工夫され、観察、実験では環境配慮への取組が示され、環境保全の意識を高められるよう配慮されている。</li> <li>(5) 学習の各場面に対応するウェブコンテンツへの二次元コードがページ下部に固定して配置されており、スムーズにアクセスできるよう配慮されている。</li> <li>(6) 「理科ノートの書き方」や「記録と整理の仕方」が掲載されており、適切に記録や整理をしてまとめ、学習を振り返ることができるよう工夫されている。</li> </ol>
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 問題解決の各過程が、全単元共通で省略なく掲載されており、児童が過程を自覚しながら繰り返し活動し問題解決の力を養うことができるよう配慮されている。</li> <li>・ 観察や実験、発表において、1人1台端末の活用場面を複数扱い、情報活用能力や言語能力が身に付くよう工夫されている。</li> </ul>

種目（理科）

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p style="text-align: center;">学校図書（みんなと学ぶ 小学校 理科）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験に関する基本的な技能を身に付けられるような構成になっている。</li> <li>・ 児童の直接体験が重視され、身近な事象から問題を見いだして観察、実験を行い、問題解決の力を養うように構成されている。</li> <li>・ 多様な自然や生物の写真が掲載され、自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養うよう配慮されている。</li> </ul>
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 児童の思いや願い、付ける力が学習のはじめに位置付けられており、児童の実態に応じて学習が進むように配慮されている。</li> <li>(2) 身近な生活経験からの事象により、問題を見つけようから問題が設定され、それぞれの予想に沿って実験計画を立て科学的に解決できるよう工夫されている。</li> <li>(3) 導入部分では身近な事象の写真が取り上げられ、話し合い活動の例示や「もっと知りたい」が示され、児童が興味・関心をもって主体的・対話的に活動に取り組めるよう配慮されている。</li> <li>(4) 配慮が必要な観察、実験には「注意」と朱書きされ、児童への安全について配慮がされている。</li> <li>(5) AB判に鮮明な写真が見開きで使われたり、実験の図は対比して示されたりしており、児童の興味・関心が高められるよう配慮されている。</li> </ol>
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 思考の過程が意識されており、既習の内容が予想や観察、実験の計画の根拠となるよう単元の配列が工夫されている。</li> <li>(2) 単元冒頭には、単元を通して児童が働かせる理科の見方・考え方が示され、「予想」「計画」「考察」の場面では対話を通して学習が進められるように工夫されている。</li> <li>(3) 季節に合わせて観察、実験ができるよう単元が配列されており、身近な事象を示して直接体験を促し、主体的に取り組めるよう工夫されている。</li> <li>(4) 巻末の「観察する」や「理科室の使い方」において、観察、実験のこつ、方法が写真と説明を対応させて示されており、安全に観察、実験を行うための配慮がなされている。</li> <li>(5) 写真が大きく使われ、対比しての提示や時間経過に沿っての提示により、事実を基に考察しやすいよう工夫されている。</li> <li>(6) 単元末に「ふりかえろう」「できるようになった」が設けられており、学習内容の定着が図られるとともに、評価の観点が明確になるよう工夫されている。</li> </ol>
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多様な予想を基にした複線型の学習や、既習の内容を生かした学習など、主体的に問題解決をするための工夫がされている。</li> <li>・ 身近な事象から主体的に問題を解決することができるように、学習のはじめに育成を目指す資質・能力を示し、思考力、判断力、表現力等の育成が意識されるように配慮されている。</li> </ul>

種目（理科）

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p style="text-align: center;">教育出版（未来をひらく小学理科）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 記録例や実験器具の使い方が示され、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けられるように構成されている。</li> <li>・ 直接体験を重視し、観察、実験の結果から結論を導く授業展開により、問題解決の力が養われるように構成されている。</li> <li>・ 生き物の飼育、地域の自然調査の学習活動を通して、生命を尊重する態度や自然を愛する心情を養えるように配慮されている。</li> </ul>
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 各学年の巻頭に「学習の進め方」を設け、問題解決の過程を1本のラインで示し、児童が問題解決の見通しをもちながら学習できるように配慮されている。</li> <li>(2) 単元の導入では、不思議を感じさせる写真を掲載し、児童の「なぜ？」を引き出す工夫がされている。</li> <li>(3) 単元毎に主人公を設定し、主人公が対話をしながら問題を解決し、単元末に自分の成長を実感する様子が表現されることで、児童が主体的に学習を進められるように配慮されている。</li> <li>(4) 裏表紙には、「理科の安全の手引き〇年」が掲載され、観察、実験を行う際の注意・危険事項が児童の目にとまるように配慮されている。</li> <li>(5) ゆとりのあるA4変型判を採用し、文字にはユニバーサルデザインフォントが使用され、全ての児童への配慮がされている。</li> </ol>
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 他教科の学習内容との関連が掲載され、教科等横断的に扱うことができるように工夫されている。</li> <li>(2) 単元の初めに学習の系統を「学習のつながり」で示したり、問題を解決する際に活用したい既習の内容を「思い出そう」で示したりして、児童が系統的に学習できるように配慮されている。</li> <li>(3) 児童が対話している場面の発言例に「見方のカギ」、「考え方のカギ」のマークとマーカーが付き、理科の見方・考え方が示されている。</li> <li>(4) 観察、実験のページは黄色の背景で区別されており、安全に配慮が必要な箇所やけがや火傷などのおそれがある箇所には「マーク」を示し、注意喚起されている。</li> <li>(5) さし絵、写真、図表の内容と本文との関連が密接である。大判の紙面のメリットを生かし、実物大や見開き表示など、ダイナミックなイラストや写真が豊富に掲載されている。</li> <li>(6) 単元末には、学んだことを日常生活に当てはめて考える問題が示され、深い学びにつながるように工夫されている。</li> </ol>
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各学年の巻頭や予想、考察場面において、考えを伝え合う話型が示されており、言語活動の充実が図られる工夫がある。</li> <li>・ 問題解決の場面毎に、主人公が理科の見方・考え方を働かせた対話を基に学び合う様子を取り上げ、理科の見方・考え方を意識付ける工夫がされている。</li> </ul>

種目（理科）

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p style="text-align: center;">信州教育出版社（楽しい理科）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内の身近な素材を活用して、自然の事物・現象への理解を図り観察、実験の基本的な技能を身に付けられるよう構成されている。</li> <li>・ 自然の事象と触れ合う中で問題を見だし、観察、実験を通して問題解決することができるように構成されている。</li> <li>・ 長野県の地域性を重視し、自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養うよう配慮されている。</li> </ul>
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘意性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 学習内容の程度や分量が、各学年とも児童の発達段階に応じるよう配慮されている。</li> <li>(2) 長野県の特色ある自然や季候に適合した単元配列がされている。写真の多くは、長野県内で見られる自然の風景や地形が使われるなど工夫されている。</li> <li>(3) 単元の冒頭で、単元全体をイメージできる写真（長野県の自然や学校行事）を使ったり、話合いの場面をキャラクターで示したりして、対話を通して学習が進められるよう配慮されている。</li> <li>(4) 観察、実験、調査の手順は、写真やさし絵を使って具体的に示されており、二次元コードで検索できる。安全については、注意マークや赤い枠で強調される等配慮がされている。</li> <li>(5) AB判を採用し、さし絵、写真、図表は鮮明で、細かい箇所はズームアップされた写真、図を用いる配慮がされている。</li> </ol>
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 各単元で、児童の活動や意識から問題が設定されており、予想、実験、結果、わかったこと（考察）という一連の問題解決の学習過程で構成されるよう工夫されている。</li> <li>(2) 各単元の冒頭に「思い出そう」の記述を設け、既習の内容の明記により系統性が示されており、内容や単元の関連性や連続性が図られている。</li> <li>(3) 長野県の気候に合った生物が教材として使われていたり、生育状況に応じた単元配列がなされていたりし、児童が直接自然に触れ、主体的に取り組むことができるよう工夫されている。</li> <li>(4) 観察、実験では、注意点を赤い枠で強調し、安全かつ正確に観察、実験ができるよう、配慮されている。</li> <li>(5) 児童の興味・関心や問題意識を高めるために、長野県で見られる地形や行事の写真が使われるよう工夫されている。</li> <li>(6) 単元末には、本単元で学習した内容を「ふりかえろう」というまとめのページを設けたり、関連した資料を示したりする工夫がされている。</li> </ol>
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 長野県の特色ある自然や身近な教材を多く取り入れ、生活経験と関係付けて学習を進められるように工夫されている。</li> <li>・ 児童が自然と触れ合い、事象を直接体験しながら、問題を見だし、意識の流れに沿い、主体的かつ連続的に問題解決が行われるよう配慮されている。</li> </ul>

種目（理科）

<div style="text-align: right;">発行者名</div> 採択基準	啓林館（わくわく理科）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観察、実験の手順を学びのラインに沿って細かく示し、基本的な技能が身に付けられるように工夫されている。</li> <li>・ 学びのサイクルにおいて、各学年で育成する問題解決の力が示され、発達の段階に応じて育成されるよう配慮されている。</li> <li>・ 多様な自然や生物についての写真が掲載され、自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養うよう配慮されている。</li> </ul>
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性  本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) どの学年においても学習内容の程度や分量が、児童の発達段階に応じるよう配慮されている。</li> <li>(2) 児童の会話の中の理科の見方・考え方にマーカーが引かれており、この単元で働かせる見方・考え方を意識しながら学習できるよう工夫されている。</li> <li>(3) 問題解決の過程を、巻頭で学びのサイクル、内容ごとにラインとして示し、児童が見通しをもち学習できるように配慮されている。</li> <li>(4) 観察、実験の手順や方法が矢印を使って分かりやすく説明されており、「注意」やアイコンマークを用いて安全面で留意する点が目立つように記されている。</li> <li>(5) AB判を採用し、児童や自然の様子などを伝える写真やイラストにより、児童の興味・関心を高める配慮がされている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 学年内、学年間の既習の内容を生かした学習、季節に応じた学習ができるように、単元が配列されている。</li> <li>(2) 「問題をつかもう」、「予想・計画」、「結果から考えよう（考察しよう）」の場面で、児童が対話的に学ぶ場面が設定、例示されている。</li> <li>(3) 単元導入で、「思い出そう」が設定されており、既習の内容や生活経験を振り返ることができ、問題意識を高め、主体的に学習が行えるように工夫されている。</li> <li>(4) 「自然を大切に」のマークが設けられ、自然を愛する心情や生命を尊重する態度が育まれるように配慮されている。</li> <li>(5) 観察、実験の様子を写真やイラストを用いて学びのラインに沿って示すことで、手順がより明確になり、指導しやすい工夫がされている。</li> <li>(6) 単元末の「まとめノート」では、単元の学習内容の大切なことが端的にまとめられており、「たしかめよう」では、基礎的・基本的な知識及び技能の定着が図られるように工夫されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対話的に学ぶ場面が多く設定、例示され、その中で理科の見方・考え方にはマーカーが引かれ、その単元で働かせる理科の見方・考え方を意識しながら学習できるよう工夫されている。</li> <li>・ 単元末の「活用しよう」では、学習内容を日常生活に関連させ、知識を活用する力を高める工夫がされている。</li> </ul>